

講義名称	造形表現	担当教員名	櫻井 剛
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育の表現技術 (ET) 選択必修	単 位	1
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	CMET1138

授業のキーワード	表現技術 造形表現 図画工作
授業の概要	作品製作の演習などを通して、子どもの遊びを豊かに展開するために必要な、造形表現についての知識や技術などを学習します。これにより、保育に関する基礎的技能、スキルを修得します。
期待される学習成果 (目標)	次の1～3を学習成果とします。1. 造形の基本的な知識と技術を修得します、2. 造形表現に関する教材等の活用及び作成を修得します、3. 造形表現の展開のための技能を修得します

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	造形表現の特徴	造形表現の特徴を学びます。
2	材料、用具	造形表現の援助を学びます。
3	素材の特徴	素材の特徴をいかして表現します。
4	素材のあそびの検討、計画	素材から遊びを想像し、構想を練り、表現します。
5	素材のあそびの工夫	素材を使って構想をもとに表現します。
6	素材のあそびの工夫	素材を使って構想をもとに表現します。
7	仕組みや機能	素材の仕組みや機能を踏まえて表現します。
8	仕組みや機能	素材の仕組みや機能を踏まえて表現します。
9	題材の検討、計画	遊びを想像して題材を検討して表現します。
10	題材の準備、製作	遊びを想像して必要な素材を集めて組み合わせます。
11	題材の準備、製作	遊びを想像して必要な素材を集めて組み合わせます。
12	作品の場の計画、製作	遊びのための環境を想像し、素材を使って表現します。
13	作品の場の計画、製作	素材を使って遊びのための環境を整えます。
14	素材のあそびの工夫	素材の特徴をいかして表現します。
15	素材のあそびの工夫	素材の特徴をいかして表現します。

定 期 試 験	定期試験は実施しません。
授 業 時 間 外 学 習	造形表現の授業時間外の課題を行います。
評 価 方 法	評価方法は、演習の課題：30%、記入の課題：25%、分担の課題：15%、授業の取り組み：15%、振り返り：15%です。
使用する教科書 (必ず購入してください)	授業に必要な用具・材料を伝えますので、持参してください。
参 考 文 献	授業中に参考文献を紹介します。